

青年研修「中央アジア・コーカサス混成 /地域における中小企業振興」

対象国： アゼルバイジャン、ジョージア、
カザフスタン、キルギス共和国、
タジキスタン、ウズベキスタン

受入人数： 22名

受入期間： 2017年7月25日～2017年8月11日



アジアと欧州を結ぶシルクロードの要衝として、古くから人や物の移動が盛んだった中央アジア・コーカサス地域は、チーズ発祥の地とも言われています。

本研修では、中央アジア・コーカサス地域の研修員22名が、生乳・チーズの一大生産地である十勝で、チーズ製造を事例とした中小企業振興について学びました。

中小企業振興を支える行政の取組みや、特色あるチーズ工房の経営理念、商品開発、品質管理等について説明を受け、自国の中小企業を活性化させるためのヒントを得ることができました。





(株)十勝野フロマーシュで、チーズの製造工程を学びました。



有限会社NEEDSで、モッツァレラチーズの製造体験。



共働学舎新得農場で、商品開発のアイデアを得ることができました。



経営者の視点を学ぶことを目的としたインサイトマネジメント(株)によるワークショップ。